

## 協力事業

7月 ふれあい祇園まつり

8月 子ども陶芸教室

11月 稲田公民館文化祭  
稲田公民館芸能発表会

12月 そば打ち教室

## 笠間市社会福祉協議会



稲田支部

## みかげ会

## 第12号

平成31年3月10日発行

発行 笠間市社協稲田支部  
支部長 長谷川 泉  
編集 稲田支部広報委員会  
印刷 大塩企画

西念寺



想石展示場・稲田石の額縁



稲田神社



前山採掘跡地

## ハイキング・秋の稲田を歩く

健康づくりと地域の方の交流を目的に、十月二十七日(土)、色づき始めの秋の稲田ハイキングを実施しました。参加者は昨年より増え、十八人でした。

朝九時、稲田駅前を出発。石の百年館→玉日廟→西念寺→稲田神社→奥宮(奥の院、稲田神社本宮跡)→石切山脈を巡り、十二時過ぎ稲田駅前までもどり解散しました。

石切山脈では、想石(株)取締役市田洋三様の案内と説明を頂きました。稲田石は白く澄んだ石肌、均整のとれた石目が美しく、堅い石質で耐久性に優れた石材です。地下は深さ1・5kmまで続いているそうです。

前山は地下65mあり、湧水と雨水により水深40mの神秘的な湖となりました。最近では「地図のない湖」として旅行会社のツアーが組まれ、昨年は約2万5千人が訪れたそうです。

健康づくりと併せ、自然や歴史にも触れ有意義な半日となりました。また途中のおしゃべりやお茶も楽しかったです。

おしゃべりサロン

高齢者を狙う消費者トラブル



猛暑の七月十四日(土) 稲田公民館において、笠間市消費生活センター長諸橋精一様をお迎えし、「高齢者を狙う消費者トラブル」について一時間の講義を頂きました。

消費生活センターには、「詐欺・架空請求」に関わる相談が毎日のように寄せられています。今回参加された十七名の内二軒にもハガキが届いたそうです。オレオレ詐欺の電話も実際に体験された方がいました。

先生は架空請求のハガキを例に、その対処法について、次のように教えてくれました。

○見覚えのない電話または0120から始まるフリーダイヤルには受話器を取らない。

○留守番機能を利用する。

○不審な電話がかかってきた場合は、電話をいったん切って本人に確認する。

○メールやハガキに書いてある電話番号には絶対かけない。

○家族や友人知人に相談する。

○警察や消費者ホットライン(局番なし)188(いやや)に連絡・相談する。

対処法を徹底し、「被害を未然に防ぐ」を心がけたいものです。



敬老会 本年度も盛大に開催!

平成三十年度敬老会が、九月十七日(月)敬老の日に来賓の笠間市教育長、稲田小学校長、稲田中学校教頭、公民館運営審議委員長の方々のご臨席の下、多くの方の出席を頂き、稲田公民館で盛大に開催されました。

今年度の稲田地区の七十五歳以上の対象者は五一四人で、米寿八十八歳の市長祝状の贈呈者は二十四人でした。

今回、式典には稲野邊好男様、佐伯しま様、友常千代様の三人の米寿者が出席され、笠間市教育長より一人一人市長祝状が贈呈されました。稲野邊好男様が出席者。



米寿市長祝状贈呈者



アトラクション「ひよっこ」



アトラクション「よさこい」

贈呈者を代表して謝辞を述べられました。

アトラクションでは、地域の方による石切音頭やひよっこ、フラダンス、よさこい、腹話術、手品などが披露され、見事な芸と振付に楽しいひと時を過ごすことができました。また出席者どうし和やかに交流ができ、心温まるとてもよい敬老会となりました。

当日までボランティア「みかげ会」や各区長の皆様、支部社協役員等たくさんの方々の関係者にはご協力を頂き、敬老会が無事開催できたこと、深く感謝申し上げます。

# 稲田ふれあい祇園まつり(協力事業)

稲田川の浄化を目的として始まった「稲田鯉まつり」を発展させ、地域のふれあい・交流と児童生徒の健全育成を目的に、第二十回「稲田ふれあい祇園まつり」が実行委員会と稲田区長会が主催となり、七月二十九日(日)開催されました。

第一部は、いなだふれあい児童公園を会場に、稲田中学生ボランテニアが全面協力し、射的、ペットボトルボーリング、輪投げ、ヨーヨー・賞品のプレゼントが行われました。

第二部は、駅前歩行者天国で恒例のキッズダンスです。開会セレモニーでは、お祭りの成功と無事を祈願して稲田神社宮司による祝詞・お祓いと主催者の玉串奉奠がありました。

第三部は、小学生の創作ダン



射 的



神輿渡御



石切音頭パレード



神 事

ス、中学生の空手演武、石切音頭パレード、ひよっとこ、フラダンス、よさこいソーラン、水戸市のバンド「JOY」ライブ等多彩な催しがありました。

地域の皆様のご支援とご協力  
で、楽しい交流となりました。

## この人に聞きました!

民生委員・児童委員

稲野邊 直子さん



Q 民生委員・児童委員になったのはいつですか。そのきっかけはなんですか。

平成十年十二月です。前任者が定年で退任されたことから、区長様を始め地域の方の推薦を受けたことがきっかけです。

Q 担当地区はどこですか。

九十一区から九十三区です。

Q どんな活動をしていますか。

対象者の見守り・支援・相談を行っています。必要があれば、市や関係者・関係機関に連絡し、対処に当たっています。

Q どんなことを心がけて活動していますか。

見守りが必要とされている方に寄り添い、支援の内容や方法を考

えながら活動しています。

Q 活動のご苦労はありますか。

よい結果が得られなかったり、最悪の事態が生じた時に、もっと関わったのではないかと悔やまれることがあります。

Q よかったこと、うれしかったことは何ですか。

気の毒な境遇の方がよい環境に向かったり、児童の自立に向けた支援ができた時よかったと思いました。

Q 今後の抱負はなんですか。

これからも一人暮らしの高齢者の方の話をよく聞いてあげたいです。

Q 地域の方へのメッセージは何かありますか。

地域のつながりが希薄になっていくので、隣近所の人が見守り助け合っていくことが必要だと思います。その際は、適度な距離感を持って、いい按配に付き合うことが大切です。

稲野邊さんは、四世代八人家族の主婦。ご主人と、稲作とショウガ栽培を中心とする農業経営をする傍ら、保護司やJA常陸笠間地区女性部長も務めるスーパーレディは、孫の成長が楽しみと話してくれました。

# 協力事業



そば打ち教室12月2日(日)  
講師・谷中孝先生



芸能発表会11月18日(日) 親鸞音頭



文化祭11月3日(土)~4日(日)



フラダンス



入賞作品「壁掛」



三味線・歌



一般の部入賞者

## 友愛訪問

## 一人暮らし高齢者訪問

一人暮らしの高齢者の方々とのふれあい  
と安否確認を目的に一月十九日(土)友愛  
訪問を実施しました。

稲田地区の八十歳以上の一人暮らし高齢  
者は四十四人です。支部社協役員と民生委  
員・児童委員十人で訪問しました。

お祝いの紅白まんじゅうを手渡し、ねぎ  
らいの言葉を述べ、近況について話を聞き  
ました。山口勇三さんは「地域の方に見守  
られ、ありがたい」と話されました。これ  
からも元気で心豊かに過ごせるようにと願  
いながら訪問先を後にしました。



山口勇三さんと高橋一夫副支部長

## 編集／後／記

「先生どうにかできませんか」

悲痛な訴えを残して亡くなった野  
田市の小学四年生、栗原心愛ちゃん。

「パパ ママ もうおねがい ゆるし  
てゆるしてください」とノートに  
綴った目黒区の5歳の船戸結愛ちゃ  
んに続いて、またしても虐待死する  
という悲しい事件がありました。

生きていれば、将来優しいお母さ  
んになって、温かく明るい家庭を築  
いたかもしれません。

すさまじい虐待を繰り返して、心

愛ちゃんの夢や未来を奪い、絶望の  
末に死なせるなんて、かわいい我が  
子にどうしてこんな仕打ちができる  
のでしょうか。

児童相談所の虐待対応件数は昨年  
度十三万件超だそうです。子どもを  
地域で見守るために、地域や社会の  
人間関係づくりをすること、住民も  
子どもの泣き声や親の怒鳴り声、家  
からの締め出し等目に余るときは、  
ためらわずに通告することが必要だ  
と思います。

広報委員

梅原 守

中野 治美

山口 由美